

福島県環境審議会第1部会（H22.11.30）における意見等対応表

参考資料

委員からの意見等						
番号	計画(素案)ページ	該当部分	修正案	修正理由	提案者	最終案
1	P2	イメージ図	-	図が分かりにくい。	長澤委員	和合委員からいただいたイメージ図を踏まえて修正します。
2	P2	イメージ図	新たなイメージ図を提案。	-	長澤委員 (意見書)	〃
3	P2	イメージ図	森林の保全などのキーワードを入れてみてはどうか。	図に使っている言葉が難しい。	稲森部会長	〃
4	P2	イメージ図	-	図の矢印が何を表すのか分からない。物質と気配りが混ざっているので分けた方がよい。 図の真ん中の矢印の意味が分かりにくい。	後藤委員	〃
5	P2	イメージ図	新たなイメージ図を提案。	-	和合委員 (意見書)	〃
6	P2	イメージ図	新たなイメージ図を提案。	3つのビジョンが関わり合いながら将来のイメージに到達する方法を示すと良いのではないか？	大越委員 (意見書)	〃
7	P3	【ビジョン1】 人が活動するにあたっては、生態系への思いやりを優先し、環境への負荷低減を図り、生物の多様性が保たれた豊かな自然環境が守られているとともに、自然とふれあうことのできるさまざまな場や機会が確保され、自然の恵みを将来にわたって享受できる多様な自然環境が保全された社会の実現を目指します。	-	自然界の何が循環するのが見えてこない。記載して欲しい。	後藤委員	御意見を踏まえて次のとおり修正します。 「人が活動するにあたっては、生態系への思いやりを優先し、環境への負荷低減を図り、生物の多様性が保たれた豊かな自然環境が守られているとともに、自然とふれあうことのできるさまざまな場や機会が確保され、自然界における物質循環が健全に保たれ、自然の恵みを将来にわたって享受できる多様な自然環境が保全された社会の実現を目指します。」
8	P3	【ビジョン2】 サブタイトル及び内容	「地域循環システムの形成による低炭素社会」は「地域循環システムが形成された社会」で良いのでは。	地域循環システムが低炭素社会に収れんするのは違和感がある。	後藤委員	御意見を踏まえて次のとおり整理します。 適正な資源循環が確保された社会 ～地域循環システムが形成された社会の実現～ 「～産業、行政、学校、家庭等が一丸となった省資源・省エネルギーによる低炭素社会へ向けた取組みや廃棄物等の発生抑制、再生利用の「3Rの推進」等の取組みが定着するとともに、地域の特性や循環資源の性質に応じた最適な規模での地域循環システムが形成された社会の実現を目指します。」

委員からの意見等

番号	計画(素案)ページ	該当部分	修正案	修正理由	提案者	最終案
9	P5	「6 施策の展開」 「(1)自然循環の保全」の文章 「自然循環が健全な状態で保全され、本県の恵まれた自然環境を美しいままの姿で未来に引き継いでいくためには、森林による二酸化炭素吸収量の確保など本県の自然特性を生かした施策を展開するとともに、農業等による環境への負荷の低減を図り、水その他の自然的構成要素を良好な状態で保持し、生物多様性の保全と持続可能な利用を図ることが重要です。」	「自然循環が健全な状態で保全され、本県の恵まれた自然環境を美しいままの姿で未来に引き継いでいくためには、まず本県の自然特性を生かした施策の展開として、森林による二酸化炭素吸収量の確保と同時に農業等による環境への負荷の低減を図り、水環境の健全でより良好な状態で保持し、危機的状況の生物多様性の保全と資源の持続可能な利用を図ることが重要です。」に修正する。	分かりやすく整理する。	長澤委員 (意見書)	御意見を踏まえて次のとおり整理します。 「自然循環が健全な状態で保全され、本県の恵まれた自然環境を美しいままの姿で未来に引き継いでいくためには、森林による二酸化炭素吸収量の確保など本県の自然特性を生かした施策を展開することが重要です。また、農業等による環境への負荷の低減や、健全な水の循環を始めとした自然環境をより良好な状態で保持し、生物の多様性とその恵みを将来の世代に継承していくことが重要です。そのため、次の施策に取り組みます。」
10	P7	「①森林の保全、整備等」の具体的な施策	「・新たな伐採を伴う森林の開発については、環境や生態系などへの負荷や影響を十分に考慮し、一定の基準に基づき審査し、適正を欠いた開発を未然に防ぎます。」を新規に追加する。	(新規に追加して欲しい項目→新たな(適正を欠いた)森林開発(伐採)の防止) すでに森林開発の規制に関しては、福島県または国としての基準があると思うが、それとの整合性をとった上で、「森林をこれ以上減らさない、森そのものを守る」福島県として明確な姿勢が見えるようにする。 ※P6-19行には、「森林の荒廃を未然に防ぎ～」と記載があるが、それ以前に、森林そのものを“開発”から守る条文がないために追加する。	橋口委員 (意見書)	御意見を踏まえて新たに具体的な施策を追加します。 「・森林において、開発行為を行うに当たっては、「森林法」の林地開発許可制度や保安林制度等に基づき、環境と調和した土地利用の誘導が図れるよう開発許可制度の適切な運用に努めます。」
11	P10	「④健全な水の循環を保全するための総合的な管理」	「⑤猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群における健全な水の循環の保全」に記載された窒素・リン除去型の高度処理の下水道や農業集落排水、浄化槽などは、「④健全な水の循環を保全するための総合的な管理」についても同じく前向きな方向で記載して欲しい。	施策「④健全な水の循環を～」には「⑤猪苗代湖及び～」も包括される。	稲森部会長	御意見を踏まえて次のとおり修正します。 「④ 健全な水の循環を保全するための総合的な管理」の「具体的な施策」を修正 「・下水道事業の推進及び適切な維持管理により生活排水対策を進めます。」と「・農業集落排水事業の推進及び適切な維持管理により、生活排水対策を進めるとともに、農業用排水の水質保全を図ります。」と「・合併処理浄化槽設置の推進及び適切な維持管理により生活排水対策を進めます。」を合併して次に修正する。 「・下水道、農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽等の汚水処理施設の整備については、近年の人口減少や厳しい地方財政等の社会経済情勢等の変化に的確に対応するため、各汚水処理施設の特性を踏まえ、地域の実情に応じたより効率的な手法を選択して、整備の促進を図ります」 また、「具体的な施策」に次のとおり新規に追加します。 「・湖沼などの閉鎖性水域の水質改善を図るために、窒素やりんなどを除去する必要のある流域においては、高度処理型の浄化槽や下水道終末処理施設等の整備や適切な維持管理の促進を図ります。」

委員からの意見等

番号	計画(素案)ページ	該当部分	修正案	修正理由	提案者	最終案
12	P11	「④健全な水の循環を保全するための総合的な管理」の具体的な施策	「・異常気象によるゲリラ降雨の都市型被害の対策を具体的に作成します。」を新規に追加する。		長澤委員 (意見書)	御意見を踏まえて次のとおり修正します。 「気候変化による局所的な集中豪雨が多発傾向にあるため、既存の施設の活用や雨水の浸透により、洪水被害を最小限に抑えます。」 (下線部分を追加)
13	P11	「④健全な水の循環を保全するための総合的な管理」の数値目標	-	現行計画の数値目標である「水質環境基準達成率」が次期計画にはないのはどうしてか。	大越委員 (意見書)	御意見を踏まえて次のとおり数値目標を追加します。 「水質環境基準達成率(河川・湖沼・海域のBOD・COD)」 現況値:90.9%(平成21年度) 目標値:100%(平成26年度) (理由)水循環をめぐる施策は、多角的・多面的なものであり、そのひとつには「水質」に関する施策もあるため。
14	P17	「(2)適正な資源循環の確保等」の文章	※全体の文章のニュアンスとして再考いただきたい。	(これから目指すべき方向性として、)「化石燃料等の資源やエネルギーの消費抑制を図る」、「輸送エネルギーの低減」、「地産地消やバイオマスの利活用を促進」は記載されているが、世界共通の大きな課題である(化石燃料に代わる)代替エネルギーへの移行(シフト)についてはまったく触れられていない。省エネや抑制はもちろん重要だが、県民にとって生活のためのエネルギーは不可欠であり、環境負荷の少ない循環型のエネルギー開発や確保は、県としてぜひ強化していただきたい課題であるため、文章への追加を検討する。	橋口委員 (意見書)	御意見を踏まえて次のとおり修正します。 「化石燃料等の資源やエネルギーの消費抑制を図るとともに、環境負荷の少ない再生可能エネルギーの利用を促進することが、低炭素社会への転換の面からも重要であり、」
15	P18-19	「①資源及びエネルギー消費の抑制」の具体的な施策	新エネルギーの計画がまとまりたい、前述の意見を踏まえ、具体的な新エネルギーへのシフトに関する条項を入れて欲しい。	-	橋口委員 (意見書)	御意見を踏まえて、施策「②新エネルギー利用等の促進」において、具体的に新エネルギーに関する施策を記述します。 「・県自ら再生可能エネルギーの導入やグリーン電力証書等のクレジット(環境価値)の活用を努めます。 ・再生可能エネルギーに関する情報発信を行うとともに、環境・エネルギー全般についてワンストップでの対応ができるよう総合窓口の整備を図ります。 ・市町村やNPO等民間団体の取組みに対する支援を行うほか、導入コストの負担軽減に向けたファンド創設に向けた研究を行います。」
16	P23	「④廃棄物等の発生抑制及び循環資源の循環的利用の促進」の数値目標 「下水汚泥リサイクル率」	「下水汚泥リサイクル率」の数値目標が「現況値(H21)93.2%→目標(H26)85%以上。」と下がっており分かりにくい。注意書きなどがあると良い。	-	高荒委員	この数値目標は「福島県の新しい県土づくりプラン」において、平成20年度の下水汚泥リサイクル率83.8%を基準で設定されているものです。平成21年度の現況値は目標を既に達成しておりますが、引き続き目標以上を維持していくものとして数値目標を記載しておりました。しかし、現況値が目標を上回っているのは不自然であるため、数値目標から削除することとして整理します(なお、部会長の了解を得ております)。

委員からの意見等

番号	計画(素案)ページ	該当部分	修正案	修正理由	提案者	最終案
17	P30	「①循環型社会の形成に関する教育及び学習の振興等」の具体的な施策 「・ 環境問題に関する専門家等を講師として活用し、児童生徒の環境学習の充実を図るとともに、様々なテーマによる体験を重視した環境教育を行うことのできる指導者の育成を図ります。」	「・ 環境問題に関わる幅広い分野の専門家等を講師として活用し、子どもから大人までの環境学習の充実を図るとともに、対象に合わせて体験を重視した環境教育を行うことのできる指導者の育成を図ります。」に修正する。	より良い表現とするため。	橋口委員 (意見書)	御意見を踏まえて次のように修正します。 「・ 環境問題に関わる様々な分野の専門家等を講師として活用し、子どもから大人までの環境学習の充実を図るとともに、対象に合わせて体験を重視した環境教育を行うことのできる指導者の育成を図ります。」
18	P30	「①循環型社会の形成に関する教育及び学習の振興等」の具体的な施策	「・ 環境教育の基盤となる幼児期の自然体験の指導者育成を図り、地域での幼児のいる親子が自然体験に親しむ機会や取り組みが増える環境づくりを促進します。」を新規に追加する。	指導者育成に関わる内容である。(新規に盛り込む。)	橋口委員 (意見書)	上記17番で修正した具体的な施策「・ 環境問題に関わる様々な分野の専門家等を講師として活用し、子どもから大人までの環境学習の充実を図るとともに、対象に合わせて体験を重視した環境教育を行うことのできる指導者の育成を図ります。」に「子どもから大人まで」の「対象に合わせて体験を重視した環境教育を行うことのできる指導者の育成を図ります。」とあり、子どもには「幼児」も含まれますので、17番のとおりとします。
19	P31	「①循環型社会の形成に関する教育及び学習の振興等」の具体的な施策 「・ 環境への関心を深めてもらうため、各種団体や市町村等が行う研修会などに、環境アドバイザー等を講師として派遣し、環境教育・学習の充実を図ります。」	「県民の環境への関心を～」に修正する。	主語を入れる。	橋口委員 (意見書)	番号19番及び22番の御意見を踏まえて、「・ 環境への関心を深めてもらうため、各種団体や市町村等が行う研修会などに、環境アドバイザー等を講師として派遣し、環境教育・学習の充実を図ります。」を次のとおり修正します。 「・ 県民の環境に対する関心を深めるため、各種団体や市町村等が行う研修会などに、環境アドバイザー等を講師として派遣するとともに、ニーズに応じたメニューの充実を図り、環境教育・学習を推進します。」
20	P31	「①循環型社会の形成に関する教育及び学習の振興等」の具体的な施策 「・ 自然体験等を通じた環境学習により、自然を愛護する態度と、環境保全のリーダーとして活躍できる実践的な力を身につけた児童生徒の育成を図ります。」	「・ 自然体験等を取り入れた環境学習により、自然に親しみ、環境保全に配慮して生活していける子どもを育成していきます。」に修正する。	より良い表現とするため。	橋口委員 (意見書)	御意見を踏まえて修正します。
21	P31	「①循環型社会の形成に関する教育及び学習の振興等」の具体的な施策 「・ 環境保全への理解を深めるため、エコリズム等により、自然体験・自然学習活動を推進します。」	削除する。	エコリズム等により、自然体験・自然学習活動を推進する。とはいえ、具体性も欠き、きわめて抽象的。エコリズムの解釈も人それぞれで、誤解も招く。「自然体験・自然学習活動の推進」については、新規提案の施策(上記18番)とP31の「自然体験等を通じた環境学習により、自然を愛護する態度と、環境保全のリーダーとして活躍できる実践的な力を身につけた児童生徒の育成を図ります。」でも触れられているので、それで十分と考える。	橋口委員 (意見書)	御意見を踏まえて削除します。

委員からの意見等

番号	計画(素案)ページ	該当部分	修正案	修正理由	提案者	最終案
22	P31	「①循環型社会の形成に関する教育及び学習の振興等」の具体的な施策	「・ 環境教育学習を更に拡大するために、研修会、講演会、勉強会など、各々の求めに応じられるメニューを作成することも大切です。」を新規に追加する。	※ 橋口委員の意見「幼児から大人までの一貫した環境教育の必要性・重要性」は、核心を得ている。具体的な施策と、現状は程遠い感が否めない。公教育に取り組むことは、各学校主体の意欲に負うところが多い。市町村の取り組みも申し分である。一方、独自の環境保全に取り組む保育園、幼稚園学校は、「環境」の理念が確立している。昨今、「環境」のくくりにも、格差が広がっている。それを縮めるためには、出来るところから、また民レベルの活動団体を県、市町村が枠組みを越えて、協働することが早急である。	長澤委員 (意見書)	番号19番と同様とします。
23	P31	「①循環型社会の形成に関する教育及び学習の振興等」の具体的な施策	「・ 「ふくしま環境活動支援ネットワーク」の機能を、より具体的に、活動支援ネットワークの更なる構築をし、県民に対する環境教育、学習の裾野を拓く役割を果たします。」を新規に追加する。	-	長澤委員 (意見書)	御意見を踏まえて、「・ 環境への関心を深めてもらうため、各種団体や市町村等が行う研修会などに、環境アドバイザー等を講師として派遣し、環境教育・学習の充実を図ります。」を次のとおり修正します。「・ 県民一人ひとりの環境理解と実践活動を促進するための体系的な環境教育・学習を推進するため、「ふくしま環境活動支援ネットワーク」(平成21年9月設立)の環境教育・学習機能を活用して、学校、関係機関との連携を図り、裾野の拡大に努めます。」
24	P32	「②県民等の自発的な活動の促進」の具体的な施策 「・ 地域や団体に環境保全活動を行っている県民を対象として講習会を開催し、環境教育や環境保全活動のリーダーを養成し、環境保全活動の裾野の拡大と活性化を図ります。」	「・ 環境保全に関心のある県民を対象として講習会を開催し、環境教育や環境保全活動の新たなリーダーを養成し、環境保全活動の裾野の拡大と活性化を図ります。」に修正する。	より良い表現とするため。(理由)裾野の拡大のためには、最初から対象を絞り込みすぎるのはよくないし、このままの表現では敷居が高すぎる。	橋口委員 (意見書)	御意見を踏まえて修正します。
25	P32	「②県民等の自発的な活動の促進」の具体的な施策	現在は、環境保全活動のリーダーはそれぞれにそれぞれの活動をしている。環境活動支援ネットワークの活動範囲を拓げでできればと思う。連携・連帯などの文言を入れて欲しい。	-	大越委員	御意見を踏まえて新たに具体的な施策を追加します。「・ 「ふくしま環境活動支援ネットワーク」(平成21年9月設立)のコーディネート機能の充実・強化等により、様々な主体の環境保全活動を活性化させ、連携と協働を推進します。」
26	P32	「②県民等の自発的な活動の促進」の具体的な施策	「・ 「エネルギーフェア」の開催を継続開催し、環境ビジネスやNPO、NGO、大学・団体等の情報交換、ネットワーク作りの場といたします。」を新規に追加する。	-	長澤委員 (意見書)	御意見を踏まえて新たに具体的な施策を追加します。「・ 環境問題に関する総合的な普及啓発の場、交流の場への積極的な参加を促進します。」

委員からの意見等

番号	計画(素案)ページ	該当部分	修正案	修正理由	提案者	最終案
27	全般	数値目標	数値目標に(注)として他の計画を記入する。	数値目標の設定にあたっては、さまざまな部(農林・土木・その他)の目標値と整合性を図っていると思うので、(注)として、そのことを記入すると分かりやすいのではないかと。例えば、P23 下水汚泥リサイクル率の目標値のところに(注)〇〇〇計画目標値	大越委員	巻末の数値目標一覧に記載することとします。
28	全般	具体的な施策	「具体的な施策」の語尾がばらばら。「図る」「推進する」「促進する」「検討する」など。より実効性が高いものにするのにこれで良いのか。	-	長澤委員	県が実施主体となるものについては「推進する」、そうでないものについては「促進する」と表現しています。その他についても、文脈を考えて言葉を使い分けています。

○委員からの意見によるものではなく、事務局が整理した内容

番号	計画(素案)ページ	該当部分	修正案	修正理由	提案者	最終案
1	P48	資料3 福島県における物質フローの概要	-	-	-	環境審議会第一部会時の資料では調整中としておりましたが、今回記載しております。
2	全般	「新エネルギー」について	-	-	-	「新エネルギー」という表現は「再生可能エネルギー」として整理しております。 ※ 現在策定中の「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン(仮称)」と整合させます。